



全国公立学校教頭会通信 第11-2号

きずな

第48回 中央研修大会

発行 令和6年2月22日

全国公立学校教頭会広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： zenkokyo@kyotokai.jp

HP： <https://kyotokai.jp>

令和5年度第48回中央研修大会（オンライン開催）を2月9日に開催しました。今年度は、約850名の会員がオンラインでつながり講演とシンポジウムにオンタイムで参加しました。

「きずな」11-2号は、中央研修大会アンケート結果の内容（一部抜粋）を掲載いたします。

第48回中央研修大会アンケートより

「教育DX」について、今後、自校においてどのように取り組もうと考えていますか？

- ・自治体との連携を図り、整えることができるハード面の充実を進めていきたい。
- ・保護者アンケートの紙からオンラインへの移行。
- ・保護者連絡アプリの積極的活用。
- ・配布物のデジタル化、職員への連絡事項・日程調整のデジタル化。
- ・真の個別最適な学びと協働的な学びの中で、児童がタブレットを必要に応じてできる環境づくり。
- ・データ連携、情報の迅速な共有、調査・集計の省力化など、既に行っているものも含めて、さらに効率化を図れそうだと感じています。最終的に、生徒に還元できるような取り組みを行っていきたいと思います。
- ・授業におけるDXを推進する。特に個別最適な学びの実現。
- ・教育DXの良さを共有しながら、全職員で活用することに視点にあてた研修を展開しながら、教育力向上に取り組んでいきたいと思っています。
- ・1人の100歩でなく、100人の1歩をめざします。子どもも含めて。
- ・様々な学校DXのよさを理解し、積極的に校務や授業に取り入れていきたい。
- ・教職員間の連絡をGoogleチャットにて活用。
- ・職員に教育DXについての事例を説明し、よさを広めたいと思います。まずは校内における教育DXに関する研修の機会を持ちたいと考えています。
- ・スプレッドシートの効果的な活用を進めて行きたいと思っています
- ・まずは、クラウドによるチャット機能で校内情報の共有化から始めようと思いました。



「教育DX」について好事例があればご紹介ください



- ・配布文書のデジタル化と文書の削減。学校の月行事（出張者等、児童数など）と学校日誌が連動しています。
- ・オンライン採点支援システムの導入により、定期テストやミニテストにおいて、採点の時間短縮やデータ分析・管理において絶大な効果を得ている。持ち帰っての丸付けはなくなり、定期テストの実施日も遅くまで残る職員はいなくなりました。
- ・ロイノートやアプリを活用して、情報を共有できるよう工夫しています。

- ・出欠席連絡やアンケートは、マイクロソフト「Forms」を活用しています。
- ・欠席連絡システムが確立されており、保護者からも先生からも好評です。
- ・PTAの役員立候補をGoogleフォームで行っています
- ・長期休業の動静表をクラウド上で共有化しています。



- 学校評価アンケートをフォームズで行っています。
- メールと f o r m s アンケートの併用により、今回の地震の際の安否確認・登校可能かどうか、所在、学習用具の有無などが確認でき、再開への流れがスムーズにできました。
- メール機能を活用した安全点検。
- 懇談の予定はメールのアンケート機能で回答。
- 教室にプロジェクターが設置され、本文板書が不要になり、付箋を用いた意見集約がジャムボードになり、欠席連絡にLINEが導入され、生徒会役員選挙の投票や学校評価アンケート保護者版も google フォームを用いて一発集計になり、かなり手間が省けてきています。

- Teams で、職員の授業実践や板書などを共有しています。また、となりの中学校ともつながっており、合同研修会に生かしています。年齢や経験に関係なく自由にやりとりができ、研修も深まります。
- 就学時検診において、Google チャットで進行状況をリアルタイムで共有したことは有効でした。
- フォームズを使って懇談会の希望調査や、回答一覧を見ての兄弟関係の調整を共通のシートで行っています。
- 校内研修で Teams を活用し、資料の送付や意見の交流を行っています。
- 朝一番に職員が確認する日報(月報)に天気予報や熱中症警戒情報、児童の欠席連絡、職員回覧チラシ確認などの情報を一元化しました。
- 新入生保護者説明会について、本校は YouTube を活用し、保護者の方が視聴可能な時間に視聴し、質問があればフォームで問い合わせるといった方法をとりました。
- AI による答案採点システムの導入 (採点から成績処理まで非常に簡単に行えるようになりました)
- 会議資料のペーパーレス化、掲示板の活用による情報共有、手書き可能な大画面の活用 (ミライタッチ)
- 教職員間の連絡は、スプレッドシートによる連絡シートやチャットを活用し、常に連絡や情報共有が可能となっています。
- 児童の使うリコーダーや算数セット、家庭科のナップザックの注文を web 注文のみ
- 大雨の時、これまでなら信号が動いているか、橋は大丈夫かなど誰かが見に行き、ケータイなどで電話して報告でしたが、teams チャットで写真を共有。すぐに教室でも子どもに電子黒板で見せることができます。
- 急な早帰りの時、すぐー で保護者に連絡します。
- 宿泊行事での、生徒の健康観察を、部屋ごとの chromebook からフォームで入力させ、体温が 37.5 度以上の生徒がいると、教員の gmail に通知が届くようにしています。
- 保護者や生徒、教職員の学校評価アンケートや生徒の欠席の連絡、長期休業中の緊急連絡に GoogleForms を活用しています。現在は、来年度入学生徒の基本情報 (保護者の勤務先や緊急連絡) を GoogleForms を活用して、提出できるよう計画しています。



令和5年度 中央研修大会

中央研修大会は喫緊の課題を採り上げ、副校長・教頭の専門性を高める取組みを行っています。今年は「教育DXの推進と副校長・教頭の役割」をテーマに開催いたしました。

当日は各教頭会・副校長会の代表参加者約850名がオンライン上に集まり、研修を深めました。中央研修大会は令和2年度からオンライン開催とし、開催後に全会員がビデオオンデマンド形式で研修し、成果の共有を可能としています。一人でも多くの会員の方々に視聴していただきたいと思ひます。

近隣の会員へのお声掛けをよろしくお願い致します！